

# 考・努・感

尾張旭市立旭中学校

旭中学校ウェブサイトもご覧ください。

<http://www.owariasahi.jp/asahi-j/>

## 『思うは招く』～植松努さんの講演より～



- 「樂をすることは楽しいことではない」
- 「不安の向こうに喜びがある」
- 「人に頼って相談したら、一人ではできないことができるようになる」
- 「新しいことは誰も知らないから絶対に教えてもらえない」
- 「自分で考えて自分で試したら、個性が身につく必要とされる」
- 「いやなことを我慢しないで、何でいやだと思うのかを考えたら人を助ける発明になる」
- 「考えを伝えるためには、心を伝える美しい言葉が必要」
- 「人間はやったことがないこととしか出会わない→人間は必ず失敗する」
- 「失敗を乗り越えたら力になる」
- 「失敗を避けると、『何もできなくなる』『成果が止まる』『考えられなくなる』」
- 「大好きなことこそが人生のパワーになる」
- 「本当のアドバイスは情報を増やすこと」
- 「自分の夢をどんどんしゃべろう」
- 「あきらめない生き方をコピーしよう」
- 『『どうせ無理』→『だったらこうしてみたら?』』
- 「できないと決めてしまうと、できることもできない」



植松努さんの講演を聴き終わった後に、私のメモに書き残されていた言葉の一部です。みんなの感想を読んでみると、それぞれに心に残る言葉があったことが伝わってきました。植松さん自分自身の実体験を踏まながら、みんなに真剣に話をしてくれたからこそだと思います。今回感じたこと・考えたことをいつまでも心に残し、生活していきましょう。

### (来週・再来週の予定)

21日(月) 委員会

22日(火)～25日(金)

期末テスト

22日(火) ②国語 ③保健体育

24日(木) ①社会 ②英語 ③保健体育

25日(金) ①数学 ②理科

25日(金) ネット犯罪防止教室

28日(月)～救命講習

### ★キラリを目指して★

#### ～話を「聞く」→「聴く」～

「どんな人かな。楽しみだなあ～。」

「講演会かあ～。面倒くさいなあ～。」

先日の植松努さんの講演会に望む気持ち・期待は、人それぞれ違ったと思います。しかし、あなたたちがどんな気持ちであれ、植松さんは一生懸命みんなに語りかけてくれました。何かを伝えようと必死に話をしてくださいました。その気持ち・姿勢は、話の冒頭部分からも伝わったはずですが、残念ながら講演の途中で『寝ている人』の姿を見かけました。何よりも真剣に何かを伝えようとしてくれている人に対する態度としては、とても失礼な態度です。また、自分自身が成長する機会を逃してしまったことにもつながります。

これから、様々な場面でたくさんの人の話を聞く機会があると思います。そういった時には今一度、相手の立場になって考え、話を聞いてみましょう。「聞く」から「聴く」といった態度・姿勢が変わるだろうし、何よりも自分自身にとって有意義な時間になるはずです。これは日々の授業・生活でも共通することだと思います。

# 『思いは招く』を聴いて！

植松さんの話はとてもためになりました。実際にあった体験談を面白く話されていて、最後まで飽きずに聞きました。自分は「ど～せ・・・」とか「自分なんて・・・」という言葉をよく使うことがあります。しかし、今回の話を聞き、もっと前向きな考え方をしようと思いました。失敗しても自分の経験の一つになるので、その失敗を成功へとつなげるようにしていきたいです。

(A組 T. Rさん)

僕は講話を聞いて、これからは人の夢は否定せず応援しようとか、自分に自信をもって生きていこうとか、やったことのないことにも恐れずにチャレンジしていこうとか思いました。また、本当にやりたいと思うことを追求し、それに関連した職業に就けたらいいなと思いました。これから先どのように生きていくかなどを深く考えさせられる講話でした。

(C組 I. Fさん)

「自分は無理」とあきらめるのではなく、どうやったらできるか、なぜできないと思うのかを考えることが大切だと、植松さんの話を聞いて分かった。運動や生活でも、なぜできなかったのかを考えて実践して、壁を乗り越えていきたい。それが好きなことになり、夢につながっていくのかなと思った。

(D組 I. Mさん)

どんなことも自分の限界を決めずにやってみようと思いました。今ある夢をもちながら、いろいろな方向から見て、少しでもやってみたいこと・興味があることを増やして、挑戦してみようと思いました。また、そのための努力は楽しくできることを続けられればいいんだと思いました。

(E組 S. Sさん)

今回の話を聞いて、私は自分の夢をもっと詳しく調べてみようと思いました。何でも「わかんない!」「むり～!」で済ませず、自分の限界までやってみようと思いました。夢は一つだけでなく、もっとたくさんの夢をもって、たくさんの本を読んで、感動をたくさんつくりたいです。

(G組 H. Rさん)



今回の講演会もとてもよいもので、“夢”ということについて改めて知ることができました。私は今まで“夢＝職業”だと思っていましたが、それは違うということに気づきました。夢は職業ではなく、本当に自分がしたいことで、夢はたくさんもっておいた方が挫折したときなどに生きる目的が見つかるとおっしゃっていました。私も辛い時・苦しい時にどうやって立ち直ればいいのか分からない時もありましたが、今回の講演会でこれが解決しました。これからは大きい夢をたくさんもって、生きる希望となるものをたくさんつくりたいです。

(B組 O. Sさん)

講話を聞いて、僕は少しあきらめようとしていた自分が恥ずかしく思えてきました。何事にもあきらめず努力して、自分だけで頑張ろうとせず、みんなで支え合っていきたいと思いました。また無理に我慢せず、思ったことを言い、自分の未来の子どものためにも夢を捨てない・捨てさせない立派な大人になりたいと思いました。これからは『思いは招く』という意味を忘れないように生きようと思います。

(F組 O. Rさん)

人間は誰しものが何回も失敗して成長するんだなと思いました。みんな失敗するのを恥ずかしがらずに、何度も失敗して成長すればいいと思った。ロケットを作るのにお金がたくさんかかると思っていたけど、そういうこと言う人たちは実際に作ったことがない人だから無視してもいいので、「ど～せ無理!」という人がいなくなって、アドバイスが増えるようになればいいと思いました。

(H組 A. Rさん)

